

1学期の通知表数値について

1学期が終了しました。中1生は中学生になって初めての通知表をもらいましたね。特に教科の数値(1~5)を見るときは生徒にとっても保護者の方にとっても緊張の一瞬だと思えます。また、受験生にとって通知表数値は志望校を決めるうえできわめて大切な数値になります。特に公立高校合否判定基準の半分は言うまでもなく「内申点」が占めているからです。しかしながら内申点を決定するのは1月中旬、しかも1学期よりも2学期重視が現実です。したがって、1学期数値は関係ないのではなく、2学期通知表を予想する上での目安と考えるのが正しい見方と言えます。また5教科に加えて、実技4科の数値もしっかり上げておく必要があります。過去4年間のデータより「中3で副教科オール4以上の成績を取った生徒の91%が北摂三田高・祥雲館に合格している」という事実があるからです。〔野垣勝彦〕

7、8月のおもなスケジュール

7/21	土	1学期授業終了
23	月	夏期講習スタート
8/4	土	夏期学習イベント【小4~中2】
11~19		【夏期休暇】
26~28		絶対合格 36 合宿【中3】
29~30		特進館アカデミー
31		夏期公開テスト【小4~中2】 中3生は9/2(日)会場受験

※9/1(土)は自習室開室(14:00~22:00)
※9/3(月)から2学期授業開始

危機管理をするために

危機管理に関して、日本では(世界でもそうかもしれませんが)まだまだ意識が足りないと思うことが多くあります。

先日の小学生が亡くなった痛ましい事件では、たとえ現場に決定権があったとしても、「暑さの危険性」への意識の低さと「中止にしたら何か言われる」ことへの心理的負担の2つが原因となって同じことが起きたのではないのでしょうか。「公共交通機関が止まっているなら自家用車で出社」という慣習も、渋滞が起きたせいで緊急車両が通れなくなる可能性を考えているのでしょうか。

万が一の事態に備えることを「臆病」と捉えることはもうやめにして、もう少しメタ的な視点で物事を考えましょう。〔金子祐太〕

特進館のびのびじゃんぶ、始めました!
小学生だけ専門指導!
無学年進級式!
めざせ15年生で小学校の学習完了!
兄弟姉妹若干名
追加申込受付中
のびのびじゃんぶ
学習教室
自習室の前後に
基礎学力を伸ばし、勉強好きになるのは
小学生が最大のチャンス!
完全個別でできるところ
からスタート! 年間100名の
進級で「できる白」がつく!
一人ひとりに合わせた個別指導とドリル学習

褒めることの大切さ

特進館キッズが開講となって、たくさんのお小生が特進館に通ってくれるようになりました。その中で常に心掛けていることは、「少しでも、成長したことは大げさでも褒めてあげる」ことです。ちょっとしたことでも、褒めてあげると子どもには大きなきっかけとなります。今後も続けていこうと思います。〔厚地香里〕

8月分の学費振替 7月(金) 27日
今月の振替分は8月分学費として、夏期講習費のご請求となります。ご案内も同封しておりますのでご確認ください。

消費税アップって、ホントに必要?

今回は経済のお話です。先日、ある生徒から、「国の財政」に関する課題作文の書き方についての相談を受けました。この課題を出した人は、おそらく、「日本の国は借金が多すぎて大変なので、消費税を上げなくては破綻する…」みたいなストーリーの作品を期待しているのでしょうか。ニュースはいつも借金だけしか報道しませんが、ちょっと待ってください!

現在、国の借金は約1200兆円。日本の年収は550兆円なので、たしかに莫大な金額です。しかし同時に、国には政府700兆円・日本銀行400兆円の計1100兆円の貯金があって、実質的な借金は100兆円。しかも、その借金はほとんどが「円」という国内のもの。「年収550万円のパパが、ママから100万円借りている」みたいな状況です。

国内、つまり家族から借金をして破綻することはありません。日本の状況は、ギリシャなどとはまったく違うのです。「日本の借金は実質ゼロ」という有識者も多数います。

万が一、「今すぐ100万円返して!」とママに言われた場合は、日本国というパパが、国立印刷局にある印刷機をせっせと回して「1万円札」をたくさん刷って、ママに渡せば返済完了。

だから、「もう消費税を上げないでほしいなあ~」って思うのは、私だけなのでしょうか…。〔北村昌弘〕



※本文はあえて、「債務→借金」・「資産→貯金」・「GDP→年収」と表現しています。

代表北村の独り言…

この暴力的な暑さで、最近毎日向かい文左亭のフワフワかき水でクールダウンしてから出勤。でなきゃ、溶けてしまいます!

編集後記

地震があったり、大雨が降り続いたり…このところ災害を身近に感じる機会が多いように思います。大阪北部地震のときもそうでしたが、地震等があった直後は水や防災グッズがよく売れるそうで、品切れの店舗もあったと聞きます。我が家では、子どもたちが総合学習で防災について学んでいる時期でもあったので、一緒に非常持出品の確認をしました。記憶は薄れていくものですが、異常といわれる現象の多いこの頃、防災に対する意識は持ち続けることが大切なのだと改めて思いました。